

中村澄子著「TOEIC TEST 3か月で高得点を出す人の共通点」祥伝社 2010年2月10日刊を読む

ディクテーションよりシャドーイングを

1. 英語の音声を聞いて、書き取っていく「ディクテーション」という勉強法はリスニング力をはじめ、英語力全般を上げるのに効果があるとされ、昔から奨励されてきましたし、お勧めです。しかし、とても時間と手間のかかる勉強法なので、短期間に大幅に点数を上げなければならないという条件のもとで TOEIC の勉強をしている時には、お勧めしません。
2. また、ディクテーションは英語を細部までしっかり聞き取っていく練習ですが、TOEIC ではすべてを聞き取ることよりも、ポイント、ポイントを確実に聞き取れることが求められます。つまり、求められるリスニングの方向性が異なっています。
3. それに、ディクテーションをすると、単語一つ一つを正確に拾わなければならない、時間がかかりすぎるため、他の TOEIC の勉強に費やす時間を取ってしまいます。結果として、点数を上げるのに予想以上に時間がかかってしまいます。
4. TOEIC 受験中はディクテーションはせず、TOEIC で目標スコアを達成後、さらに英語力を向上したいという方が取り組むとよいでしょう。
5. むしろ、TOEIC にお勧めできる勉強法は、「シャドーイング」です。  
シャドーイングとは、英語の音声を聞きながら 1 秒遅れくらいで真似して繰り返す練習で、通訳のトレーニング方法の一つです。聞こえてきたまま真似すればよく、初心者は数秒ずつでもかまいません。
6. リスニングセクションの勉強で、新公式問題集を何回も何回も聞いて、飽きてきてしまったという人に「シャドーイング」を勧めています。特にリスニングセクションのパート 2 の勉強にお勧めです。
7. シャドーイングをすると、自分が聞き取れていない単語やフレーズがはっきりわかり、リスニングの精度が上がるほか、英文の構造などが自然と頭に入ってくるので、読解力などの向上にも効果があります。

8 . ただ、本当に時間のない方は、シャドーイングも省いていいかもしれません。リストラや昇進など、TOEIC の点数が人生にかかわってくる場合には、1 分たりとも無駄にできないからです。

9 . 短期間に結果を出せる人の共通点

英会話、NHK ラジオ講座、ディクテーション.....一般的に英語の力がつくといわれている勉強法が、時間のない人には遠回りになることも。時間がない場合は、TOEIC に即効で効かないものには、手を出さない。

P24 ~ 25

[コメント]

TOEIC 指導の第一人者の一人、中村澄子先生のシャドーイングのすすめ。TOEIC に限らず、実行してみたい。

- 2010 年 2 月 26 日 林明夫記 -